

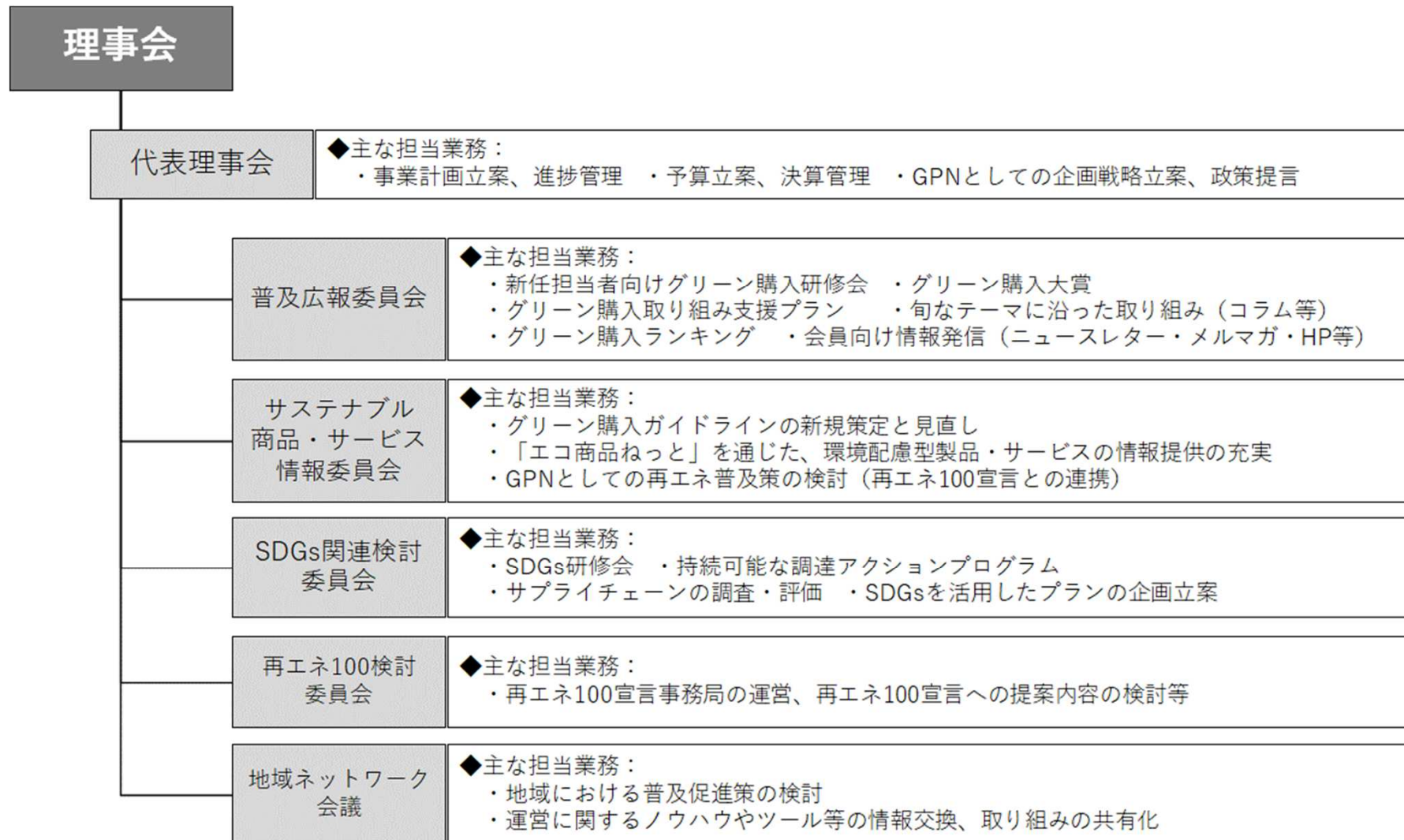
グリーン購入ネットワーク 2020年度活動報告

2021年2月10日
グリーン購入ネットワーク（GPN）



2020年度 運営体制

- 梅田靖（東京大学大学院）が会長に就任し、第13期を開始。
- 持続可能な調達や再エネの普及を目指し、5つの委員会を組織。



2020年度 事業計画

- 活動方針 1. 持続可能な購入活動の促進
 2. 影響を与えるキーパーソンとなる購入者の意識醸成と取り組み支援の強化

NO	切り口	事業名	主な対象者			
			企業	行政	社会	
1	学ぶ機会	SDGs研修会	○	○		
2		新任担当者向けグリーン購入研修会		○		
3	実践する機会	持続可能な調達アクションプログラム	○			
4		サプライチェーンの調査・評価	○			
5		グリーン購入大賞	○	○	○	
6		グリーン購入取り組み支援プラン		○		
7		再生可能エネルギー利用の普及促進	○	○		
8		商品情報を 得る機会	グリーン購入ガイドラインの策定・改定	○		○
9			環境配慮型製品・サービスの情報の充実	○	○	○
10	社会等への情報 発信	旬なテーマに沿った取り組み（GPN News、コラム等）、 会員向け情報発信	○	○		
11		グリーン購入ランキング		○	○	
12		政策提言			○	

SDGs研修会 – ポストコロナ時代を生き抜くための経営 –

■ 研修会特徴

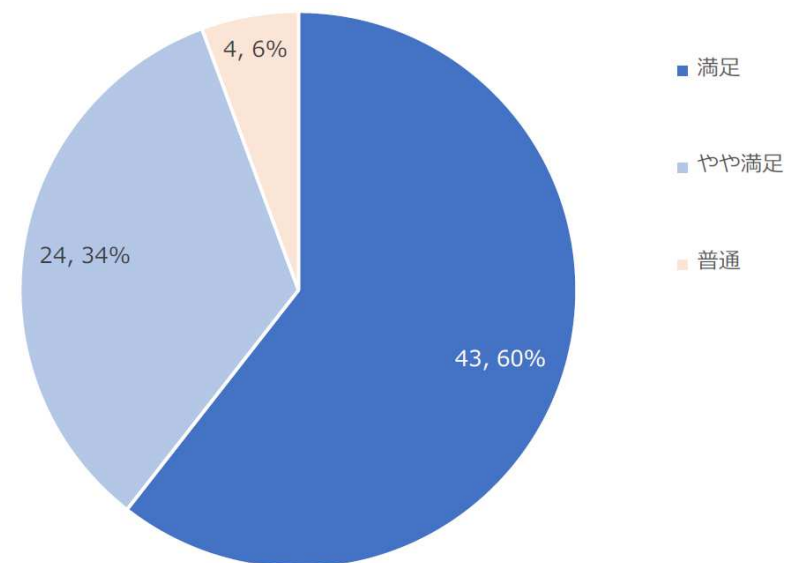
- 全 6 回 Zoomによるオンライン開催
- 230名を超える会員等が参加
- SDG Compassに基づく13事例
- ポストコロナ時代に求められる取り組みを学ぶ
- これから必要なSDGsの取り組みを考える

■ プログラム

第1回	環境省 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン グリーン購入ネットワーク
第2回	内閣府 グリーン購入ネットワーク、富士通
第3回	消費者庁 ファンケル、セブン&アイ・ホールディングス
第4回	観光庁 コマニー、フジクラ
第5回	農林水産省 ノーリツ、ホットマン、エルコム
第6回	金融庁 博展、立教大学 河口氏

■ 参加者からの声（アンケートより）

- 今、日本企業がどう理念のもと経営戦略を練り、SDGsの取組に熱量を注いでいるのかが、とても真摯に伝わってきた。
- 社内の取り組みが具体的でわかりやすかった。本当にSDGsを実施しているのがよく分かった。数値や理論で測れない実際の現場感がとても参考になった。
- どう社業にアジャストさせて取り組み、社内浸透させていくかという目線で受講した。
- 生々しい話で、とても理解しやすく、SDGsがまさに企業価値や経済価値につながっている事例と思った。



SDGs研修会（第6回）参加者アンケート

新任担当者向けグリーン購入研修会

■ アンケート調査（6月）

自治体担当者と連絡を密にしつつ、オンラインシステムの利用可否やコロナ禍での課題を把握。

- オンライン会議システムの利用可否
- グリーン購入・環境配慮契約の推進における課題



■ オンライン個別相談（7月）

地方自治体のグリーン購入推進担当者を対象に、オンラインでの個別相談会を実施。

- ◆ 組織内でのグリーン購入の推進方法・・・1件
- ◆ 環境配慮契約方針の策定・改定方法・・・2件
- ◆ グリーン購入調達方針の改定方法・・・1件

■ オンライン講座（7月）

方針の策定や改定にテーマを絞り、環境省が実施する実務支援の支援団体の掘り起こしをねらって開催。

- ◆ グリーン購入方針 策定・改定手順・・・・・・29団体34名参加
- ◆ 環境配慮契約方針 策定・改定手順・・・・・・32団体43名参加

■ オンライン研修会（10月、11月）

コロナ禍で職員研修会が実施できていない自治体が多く、グリーン購入及び環境配慮契約に関する基礎を開設する研修会を開催。複数名が会議室に参加する自治体も多数あり。

◆ グリーン購入・・・96団体140名

○ プログラム

- グリーン購入の基礎
- グリーン購入法の仕組みと品目・判断基準
- 取り組み事例：春日部市、函館市
- 組織的に取り組むポイント

◆ 環境配慮契約・・・70団体82名

○ プログラム

- 環境配慮契約法と電力契約の仕組み
- 取り組み事例：つくば市、吹田市
- 取り組みのポイント、他自治体の事例紹介

開催報告 <https://www.gpn.jp/info/gpn/bdeed47c-7a32-471c-8935-ec03bf2dd3d9>
<https://www.gpn.jp/info/gpn/03a057cd-2924-4304-9905-d19f34cc5404>

持続可能な調達アクションプログラム

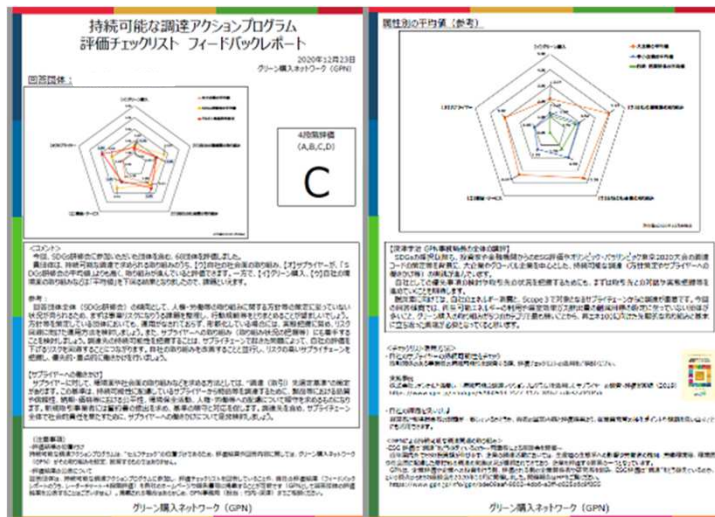
持続可能な調達に対応した事業者であることを確認するために、自社や自社製品・サービスの環境面のみならず、社会面の取り組みやサプライヤーへの確認状況などをセルフチェックするプログラム。

■ 評価チェックリスト

- SDGs研修会参加者が回答。
- 23団体に回答・分析結果をフィードバック。

評価チェックリストはホームページから

<https://gpn2030.wixsite.com/action-program>



■ ESG座談会

ESG評価は“調達”をどう捉えているのか、という視点からESG座談会を2020年10月に開催

● 座談会参加者 役職名省略

- 金丸治子氏 (イオン (株))
- 原孝章氏 ((株) イトーキ)
- 松川恵美氏 (CDP)
- 西野成昭氏 (東京大学)
- 岸本吉浩氏 (東洋経済新報社)
- 後藤文昭氏 (三井住友信託銀行)
- 林寿和氏 (ニッセイアセットマネジメント (株))
- ファシリテーター: 稲葉敦氏 (GPN アドバイザー、日本LCA 推進機構)

座談会の内容をホームページで全文公開

<https://www.gpn.jp/info/gpn/bde09aaf-9802-4db6-a3ff-d825d6c9f855>





持続可能な調達アクションプログラムの活用

「持続可能な調達アクションプログラム 評価チェックリスト」を活用し、会員団体のサプライヤーに対して、現状の取り組み状況を把握するための調査を実施。

調査の詳細 <https://www.gpn.jp/info/gpn/5f9b0593-f427-412c-84b7-cd632a9404dc>

目的	ファンケルグループは2018年2月に「ファンケルグループ持続可能な調達基本方針」を策定。取引先と共に、地球環境、人権、労働などに配慮した「持続可能な調達」を実現するため、取り組み実態の調査を実施。
調査対象と調査方法	対象：主要取引先157社 時期：2020年1～2月 方法：ファンケル社が取引先にFAX、もしくは手紙（ファンケル社の封筒）で調査を依頼、調査票のURL、QRコードへ誘導
調査項目	調査項目は「持続可能な調達アクションプログラム 評価チェックリスト」を、ファンケル社の調達基本方針に準じ、約30問の内容にカスタマイズ。
回答	回答率61.8% 化粧品（原料・資材）36社、健康食品（原料・資材）61社。
調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 取り組み先による先進的な活動を把握できた（未利用資源の活用、海外での原料加工による物流の環境負荷低減等）。 環境面では、従業員教育、社会面では外国人・移住労働者の関連で改善の余地がある。

実践する機会

グリーン購入大賞



- 第21回グリーン購入大賞を実施。
- 通常部門に加え、「プラスチック資源循環特別部門」を設置。13団体を表彰。
- 受賞団体の取り組みを50以上の新聞・メディアが掲載。

審査結果 <https://www.gpn.jp/info/gpn/6c86ac95-ca22-4906-9aba-29834d5efd28>

大賞・環境大臣賞	法政大学 川久保俊研究室（行政・民間団体部門）
大賞・経済産業大臣賞	昭和電工株式会社（プラスチック資源循環特別部門）
大賞・農林水産大臣賞	株式会社クラダシ（中小企業部門）
大賞	株式会社東急ホテルズ 川崎キングスカイフロント東急REIホテル（大企業部門）、 小川珈琲株式会社（中小企業部門）、横浜市（行政・民間団体部門）、 日本コカ・コーラ株式会社（プラスチック資源循環特別部門）
優秀賞	大東建託株式会社（大企業部門）、デジタルグリッド株式会社（大企業部門）、 有限会社生活アートクラブ（中小企業部門）、町田市（行政・民間団体部門）、 宇陀化成工業株式会社（プラスチック資源循環特別部門） FYS株式会社（プラスチック資源循環特別部門）
グリーン購入 推進自治体特別賞	新潟市、大阪市

再生可能エネルギー利用の普及促進



- **再エネ100 宣言 RE Action」参加団体が100団体を突破。**
 - 参加団体のインタビュー動画Youtube公開。
<https://www.youtube.com/channel/UCnvlGolzwd3kO37A5zd20tg>
 - 太陽光発電協会と需要家（行政・中小規模企業等）の意見交換会
 - 年次報告書2020を公表。
- **電力の総合評価と再エネ調達の意見交換会（6月）**
- **環境省からの受託業務「令和2年度 脱炭素社会形成行動の主流化推進事業委託業務」を受託し、以下の調査を実施。**
 - ① 再生可能エネルギーの利用状況アンケート・ヒアリング調査、インタビュー
 - ② RE100・SBT企業の【再生可能エネルギーの利用要請】についてのアンケート・ヒアリング調査
 - ③ 電力小売りメニューやTPO/PPA サービス内容についての整理

グリーン購入ガイドラインの策定・改定



製品やサービスを選択する際に、環境及び社会的側面から考慮すべきポイントをまとめた、選び方のガイド。社会情勢や製品開発等の状況をふまえ定期的に見直しを行っています。

グリーン購入ガイドライン <https://www.gpn.jp/guideline/>

● 印刷サービス発注ガイドライン（2020年6月改定）

- 塩素系樹脂（表面加工）に関する記述の削除
- グリーン購入法の反映

● パソコン購入ガイドライン（2020年11月改定）

- タブレットを対象範囲に追加し、ガイドライン名称を「パソコン・タブレット」購入ガイドラインに変更。
- 紛争鉱物の排除や責任ある鉱物調達に関する取り組みを情報提供項目に追加。
- 「エコ商品ねっと」掲載条件を設定

● 自動車購入ガイドライン（2020年11月改定）

- 植物原料のプラスチック又は合成繊維で持続可能性に配慮したものの使用に関するガイドライン項目を追加。
- 紛争鉱物の排除や責任ある鉱物調達に関する取り組みを情報提供項目に追加。

環境配慮型製品・サービスの情報の充実

グリーン購入ガイドラインに沿って、製品やサービスの環境情報を情報提供。
グリーン購入法適合やエコマーク等の環境ラベルでの絞り込み機能やグリーン購入法適合製品リストのダウンロード機能を装備。

エコ商品ねっと <https://www.gpn.jp/econet/>



- **14,386商品掲載**（2020年1月時点）
- **新規分野の情報提供**
 - 石けん・洗剤・・・18商品（2社）
 - ごみ袋・・・・・・・・37商品（6社）
- **新型コロナウイルス対策に関する商品情報の発信**
 - 需要が増えている分野（衛生用紙、洗剤、OA クリーナー、家具、OA機器等）の掲載商品の紹介
- **掲載事業者の環境面・社会面の取り組み情報（チェックリスト）**
「環境の取り組み」の情報更新

パーム油研究会



食品や石鹸・洗剤・化粧品など、多くの製品の原材料になるパーム油。持続可能なパーム油の普及が進まない中、日本全体の認証パーム油に関する枠組み作りを目的として2015年にスタート。生産地での現状や課題の講演や取り組み方法等の情報共有を実施。

- 研究会を開催（5月、6月）
- 環境・社会面に配慮したパーム油の日本企業スコアを公表

スコアの詳細 <https://www.gpn.jp/info/gpn/aa8dc9a8-d4fd-42af-a2c9-3053777582ac>

- 「環境ビジネス」ウェブサイトの記事掲載（7月）
- 「オルタナonline」の記事掲載（7月）

2018年実績* による環境・社会面に配慮したパーム油の日本企業スコア 製造業・小売部門

*出典：RSPO（Roundtable on Sustainable Palm Oil、持続可能なパーム油のための円卓会議）の年次報告書（ACOP 2018）提出データ（<https://rspo.org/members/acop>）

No	企業名	部門	調達方針	実績公開	RSPO加盟	RSPOへの報告	認証油100%目標年	公約対象国	パーム油総使用量(t)	認証油の使用割合(%)	MB・SG・IPの使用割合(%)	前年の認証油使用割合(%)	スコア
1	株式会社資生堂	製造業	✓	✓	✓	✓	2018	✓（中国、フランス、日本、台湾、米国、ベトナム）	9,750	100.0%	0.0%	0.9%	12
2	サラヤ株式会社	製造業	✓	✓	✓	✓	2020	（日本）	4,155	62.9%	0.2%	60.8%	11
3	味の素株式会社	製造業	✓	✓	✓	✓	2020	✓（世界全体）	36,722	20.9%	16.2%	10.9%	10
3	太陽油脂株式会社	製造業	✓	✓	✓	✓	2020	✓（日本）	13,000	2.6%	2.6%	1.6%	10
3	森永乳業株式会社	製造業	✓	✓	✓	✓	2028	✓（日本）	5,059	67.7%	0.0%	-	10
3	株式会社ニイタカ	製造業			✓	✓	2017	✓（日本）	7	100.0%	0.0%	-	10



旬なテーマに沿った取り組み

GPN会員団体の取り組みの充実に役立てていただくために、GPN News (年4回発行)に加え、GPNコラムを開始。会員専用ページで全文を公開。

GPN News (主な特集記事)

- 重要性、切迫性が高まる地方自治体の気候変動対策
- 環境省における脱炭素化に向けた取組
- ネットゼロ時代に求められるサプライヤー・エンゲージメント
- 会議やイベントに求められるサステナビリティの視点
- ESG評価は“調達”をどう捉えているのか

社会動向等の情報提供 (HP)

- グリーン購入に取り組む効果とは？ 論文「グリーン経済による地域活性化」(西九州大学大学院 山口和海氏)
- 研究報告「日本の自治体におけるグリーン購入の促進」(早稲田大学環境経済・経営研究所)
- 公的機関のための再エネ調達実践ガイド(環境省)
- CSR企業白書2020年版(東洋経済新報社)に寄稿「環境活動としての調達の矛と盾」
- 再生紙(コピー用紙・印刷用紙)のグリーン購入について

GPNコラム

GPNアドバイザーによる旬なキーワードや社会的課題、トレンド等の解説記事。

号	上段：タイトル、下段：執筆者
特別編 (一般公開)	共同調達による地方自治体のグリーン購入や環境配慮契約推進の可能性 深津 学治 (グリーン購入ネットワーク 事務局長)
VOL.6	企業と環境法政策 奥 真美氏 (GPN アドバイザー/東京都立大学 都市環境学部 教授)
VOL.5	持続可能な社会の実現に向けて-責任ある消費行動を促す仕組みと消費者教育に求められる視点- 松本 真哉氏 (GPN アドバイザー/横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授)
VOL.4	地域レベルの持続可能な消費と生産-ローカル SCP 推進の秘訣- 中口 毅博氏 (GPN アドバイザー/芝浦工業大学 システム理工学部 教授)
VOL.3	循環型社会に向けた政策-プラスチック問題でのEUと日本- 石川 雅紀氏 (GPN アドバイザー/神戸大学 名誉教授)
VOL.2	法政策、基準等からみる環境-今、ISOの世界で議論されていること- 稲葉 敦氏 (GPN アドバイザー/一般社団法人日本LCA推進機構 理事長)
VOL.1	新型コロナウイルスとグリーン購入 伊坪 徳宏氏 (GPN 代表理事/東京都市大学 環境学部教授)

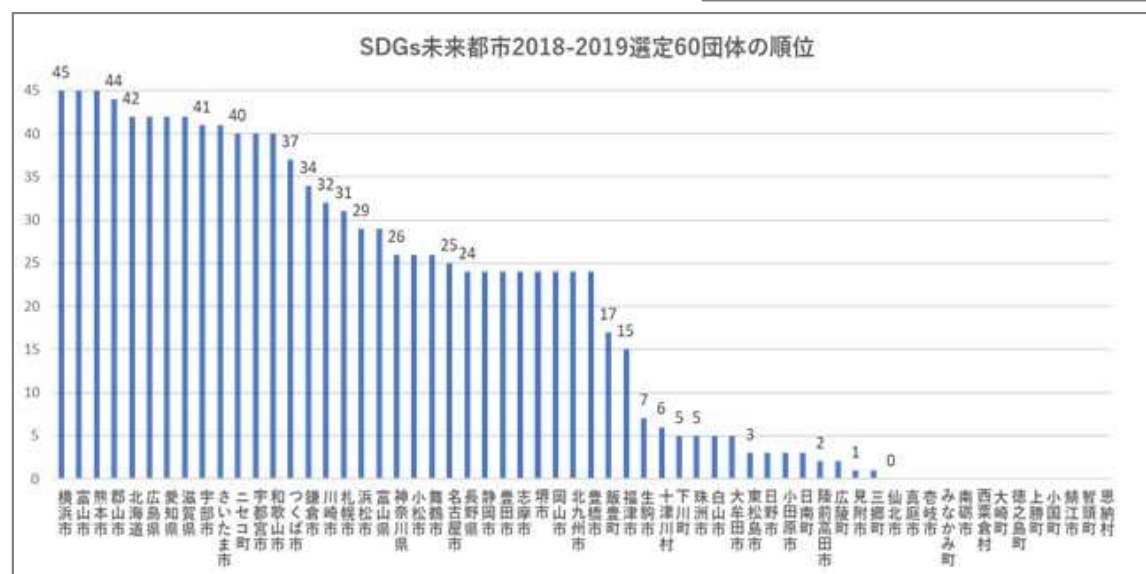
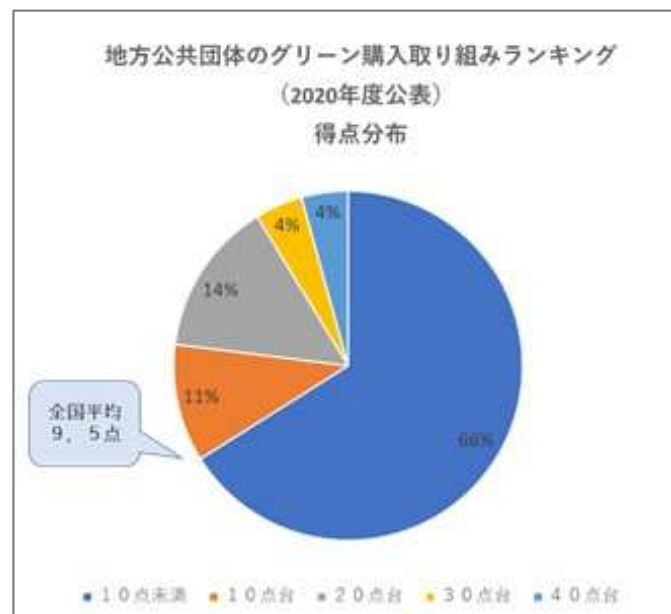
グリーン購入ランキング

地方自治体のグリーン購入の取り組みを促進するために、環境省が実施するアンケート調査結果を基に、全ての自治体をGPNが独自に採点。

結果詳細 <https://www.gpn.jp/info/gpn/f30906ce-23e7-455f-9437-8514bc425a6f>

■ 2020年度結果 (2016年～これまで5回実施)

- 14 団体が満点
- 域内自治体を含む都道府県別は、東京都が1位
- 環境先進自治体の中にも見られるグリーン購入の取り組み差



政策提言



グリーン購入は、気候変動対策や資源循環の促進、生物多様性の保全等、様々な環境施策の重要な手法の一つと位置付けられています。
GPNでは、グリーン購入に取り組みやすくなるように、政策提言を行っています。

■ グリーン購入法基本方針への提案（7月）

「石けん・洗剤」購入ガイドラインを策定したことを踏まえ、グリーン購入法の「役務（サービス）」の「食堂」の基準に、「廃食用油又は持続可能な植物油を原料とする石けん・洗剤の使用」を追加することを提案。

提案内容 <https://www.gpn.jp/info/gpn/2b5b472a-38ac-489e-bb32-bec10848bd81>

■ 環境配慮契約法基本方針への提案（6月）

再生可能エネルギーの割合が高い電力を供給する事業者および電力プランをより高く評価できることを目的として、価格とともに総合評価して入札者を決定する総合評価落札方式を、昨年に引き続き、本年度も提案。

提案内容 <https://www.gpn.jp/info/gpn/79978660-0ec4-4a3f-ab49-2ae60b6b4599>

講演・外部委員会活動

GPNでは、外部講演や業界団体等の委員会への参画を通して、グリーン購入や持続可能な購入、再エネ導入の普及促進に努めています。

■ 外部セミナー等での主な講演

- 環境・CSR情報Vaneオンラインセミナー「SDGs・ESG時代における“調達”の現在地とこれからの企業経営」
- 横浜市地球温暖化対策推進協議会「再エネ100宣言 RE Action 参加の条件とメリット」
- 第19回地球温暖化に関する中部カンファレンス「再エネ100宣言 RE Action発足」
- JARTA「観光関連事業者のためのグリーン購入」
- NNネットSRセミナー「コロナ禍だから考えたい、地域の持続可能性と行政の社会責任調達」
- ウェビナー「グリーン購入法制定20年：グリーン調達の現状と最新の事情」
- 有限会社ボンズ企画「第一回社員向けのSDGsセミナー」
- 第37回太陽光発電シンポジウム「今、達成可能な再エネ100」
- 沖縄県地球温暖化防止活動推進センターセミナー
- 地域活性エネルギーリンク協議会 地域活性Webセミナー
- 環境経営に向けた工場・施設のエネルギー効率化～中小企業Webセミナー～
- みやぎGPN「SDGs研修会～エシカルという視点から～みやぎのアクションを日本へ！」
- グリーン購入セミナーin福岡「SDGsを知りグリーン購入の重要性を学ぶ」
- 大学での講義（横浜市立大学、フェリス女学院大学）

■ 外部委員会

- 低炭素社会実行計画 第三者評価委員会（一般社団法人日本経済団体連合会）
- 環境社会検定委員会（東京商工会議所）
- 違法伐採対策モニタリング事業監査委員会（日本製紙連合会）
- グリーンプリンティング工場認定委員会（一般社団法人日本印刷産業連合会）
- グリーンエネルギー認証諮問委員会（一般財団法人日本品質保証機構）
- エコプロ2019 実行委員会（一般社団法人産業環境管理協会）
- エコプロアワード選考委員会（一般社団法人産業環境管理協会）
- ご当地電力証明書価値認証委員会（全国ご当地エネルギー協会）
- エコマーク企画戦略委員会（公益財団法人日本環境協会）
- 日本LCA 学会企画委員会（日本LCA 学会）
- 国際会議におけるSDGs コンテンツ開発リビューアー（公益財団法人東京観光財団）
- JaSPON（持続可能なパーム油調達ネットワーク）
- SUSPON エネルギー部会（持続可能なスポーツイベントを実現するNGO/NPOネットワーク）